

プロフィール

美と用を備える工芸として、又生活に密着したものとして型染めを通して男女問わず0歳から高齢者まで多くの方々に身近に楽しんで使って頂きたいと常に願っております。



日常に心ずる言葉

- 感謝（総てのものに、ありがとう）
- 日々新たなり（今日も一日、精一杯、新たな日を創ろう）
- 初心を忘れない（慣れると怖い）
- 急がば廻れ（特に染色作業中）
- 笑顔（ふっと気がつく）
- 利他愛（人の為に喜んで頂こう）
- 集散離合（自然界、集まり育て、種は又花咲き実を結ぶ）
- 自然は嘘をつかない（酒造業を営んでいた父が醗酵の研究する中で、私に教えて呉れた言葉です。）
- 忙中閑有（なかなか出来ないんです…）
- お詫び（ごめんなさい）

略歴

若き日に画家を志していた父（酒造業、清酒 花清水）の影響を幼少の頃より受けて、芸術の方向に進む

- 1964 新匠工芸会展初出品。以後現在に至る
- 1968 京都毎日選抜美術展
- 1980 サロンド・コンパレゾン出品（パリ）
- 1982～「染翔会」主宰 以後現在に至る
- 1976-89 海外個展（ベルギー4回・フランス2回・スイス・米国）
- 1982-90 個展（京都/大阪/神戸/東京/倉敷/岡山）後、東京於毎年開催
- 1985 京都美術工芸選抜展
- 1985 '85京都美術選抜展（京都市立美術館）
- 1986 '86京都美術選抜展（京都市立美術館）
- 1986 米国・南イリノイ州立大学に於いてワークショップ指導
- 1987 京都工芸美術作家協会展 知事賞
- 1988 京都工芸美術作家協会展 奨励賞
- 1990 朝日現代クラフト展招待出品
- 1991 京展 市長賞
- 1991 京の工芸展（京都文化博物館）
- 1992 京展 あかね賞
- 1992 新・現代工芸展（大阪市立美術館）
- 1991-95 染・清流展 ～'01（6回）（京都市立美術館）
- 2004-06 倉敷芸術科学大学染織科、非常勤講師
- 2006 京都市芸術文化協会賞
- 2013 京都工芸の精華展（高遠美術館・中信美術館・ベトナム美術館）
- 2015 「琳派400年記念展」
- 2015 「京都の染色一世代をつなぐ女性作家たち」（ギャラリーヒルゲート）
- 2015 第61回 全関西美術展・審査員
- 2015 第70回 新匠工芸会展・稲垣賞
- 2016 「染・清流展を顧みる」（染・清流館）
- 2019 第70回大津市美術展・審査員

新匠工芸会展 於

'65 佳作賞/'67 奨励賞/'72 新匠賞/'78 新匠賞/'80 稲垣賞/'90 河合賞/'97 新匠賞

現在 新匠工芸会会員 京都工芸美術作家協会会員 染翔会主宰